

いきいき社まちづくり協議会

やしろ

第40号 令和6年2月発行
 いきいき社まちづくり協議会(調査・広報部)
 鳥取市用瀬町宮原 88-1
 Tel : 0858-87-3473 Fax : 0858-87-3478
 E-mail : cc-yashiro@it.city.tottori.tottori.jp

いきいき社むらまつり

11月12日(日)



保育園児：「ココロ、オドルほうで」の演技

ご挨拶：いきいき社まちづくり協議会 会長 西川 巧美

年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。

まず、元日に発生しました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年はコロナウイルス感染症が第5類へ移行された事により長く続いたコロナ禍から脱し、ようやく日常を取り戻した1年であったと思います。いきいき社まちづくり協議会では、社地区運動会などすべての事業を感染対策に配慮しながら実施することが出来ました。

さらに昨年4月には、地域の伝統文化の継承として「花籠」を制作し、犬山神社へ奉納しました。この事が新聞等で報道され犬山神社「春の例大祭」当日は子ども達やマスコミの参加などもあり大変賑やかなものとなりました。昨年9月末には用瀬町内のスーパーマーケット閉店に伴い、買い物環境確保のため「いきいき社バス」の河原町内スーパーマーケットまでの運行を開始致しました。運行状況については想定を超える多くの皆様にご利用いただいております。これからも皆様に、地域の伝統文化の継承や楽しく安全に生活して頂けますよう「いきいき社バス」の利便性の向上など活性化に力を入れたいと考えています。

今後とも「いきいき社まちづくり協議会」に対しまして、ご指導・ご協力を頂きますよう、お願い致します。

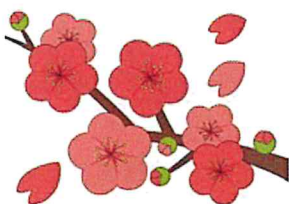
本年も皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



社見人

令和六年が始まりましたが、年初から大震災・航空機事故と、天災の脅威とあり得ない事故が隙をついて起きる事を思い知らされました。

社地区でも昨年十一月に避難訓練(避難所開設訓練)があり、筆者もそういう訓練に初めて参加したばかりですが、航空機事故発生後、客室乗務員の避難誘導の素晴らしさを見ると、やはり訓練の大切さを実感するばかりです。本当に明日は我が身、我が地区で起こりうることを、避難訓練は今後も実施されるようですので、思い新たに参加したいと思っております。



いきいき社むらまつり：今年度も開催致しました



屋住の獅子に「神憑いて」もらいました



芸能発表 会場の皆さんと一緒に手拍子で楽しく



上手にお餅を丸める皆さん



人気の手作り「味噌」「こんにやく」「豆腐」「お餅」販売



目下売り出し中、行列のできる「柿の葉寿司」調理場の模様



「柿の葉寿司」を目当てに長蛇の列も



子ども達も楽しめる「わくわくコーナー」

11月12日（日）毎年恒例となりました「いきいき社むらまつり」を開催致しました。コロナウイルス感染症も5類へ移行となり催しの内容も感染対策を行いながら、保育園児をはじめ参加休止されていたサークルも復活して頂き、従来の内容に近づく事が出来ました。また新たな取り組みとして、社地区名産を目指す「柿の葉寿司」も販売窓口に長蛇の列が出るほどの大盛況でした。ご協力頂きました各集落の文化部の皆様をはじめ、ボランティア参加頂きました皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。紙面に限りがあり、皆様の活躍の場面、素敵な作品の数々など全てをご紹介できないのが残念です。来年度も開催いたしますので、是非ともご来場頂き、社地区の文化を見たり、聞いたり、味わったりと楽しんで頂けたらと思います。